

「長野県は宇宙県」

長野県は日本でもっとも
「宇宙」が身近な県です。

標高3000メートルを超える峰々がそびえ立ち、
平均標高が日本でもっとも高い長野県。
夜には、澄んだ大気を通して星々が輝きます。

その「宇宙に近い」星空を求めて
長野県には多くの天文関連施設や研究機関、
そしてアマチュア天文家が集まっています。
宇宙へ向かう宇宙飛行士さえも輩出しました。

わたしたちは「宇宙に近い」という
長野県の魅力を広く伝え、
活かしていくための活動に取り組んでいます。



「長野県は宇宙県」連絡協議会
<https://uchuukun.jpn.org/>

「耳をすませば」 撮影：大西浩次
カシオペア座の下で、野辺山ミリ波干渉計が天の川を見上げている。
奥の45m電波望遠鏡が星空の声に耳を澄ませている。

「長野県は宇宙県」の始まり

長野県は日本の中でも特に宇宙と関わりが強い県です。美しい星空はもとより、多くのプラネタリウム、天文同好会、宇宙航空産業、天文研究施設が存在し、また、長野県出身の油井宇宙飛行士の活躍もありました。そこで、「長野県は宇宙県」を合言葉として、長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産をみなさんに理解していただくとともに、「宇宙」を観光・教育資産として活かしていきたいと考え、長野県内の天文研究施設を中心とした連絡協議会を立ち上げました。

そして、2016年11月23日、信州大学松本キャンパスにて第1回目の「長野県は宇宙県」ミーティングを開催し、松本宣言を行いました。

憲章(松本宣言 2016.11.23)

長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を多くの人たちと共有し、その魅力を広く伝えていくことにより、長野県の地域振興、人材育成、観光、天体観測環境維持に寄与することを目的とする。また、参加する団体・個人は、この目的のために、お互いの特徴を認めつつ、協力をし活動する。

「長野県は宇宙県」連絡協議会

「松本宣言」に賛同した長野県内の、天文研究者、科学館職員、アマチュア天文家などの天文関係者による任意団体です。「長野県は宇宙県」を合言葉として、「宇宙に近い」長野県の特徴や魅力を広く伝える活動に取り組んでいます。

「長野県は宇宙県」の活動



「長野県は宇宙県」イベント

2017-2019年は長野県内の天文施設やイベントを巡るスタンプラリー、2020年は動画コンテンツを見るキーワードラリー、そして、2024年は東京大学木曽観測所50周年を記念した「長野県！ 出かけよう星空観望会」を実施しました。



長野県天文文化研究会

2019年より「長野県は宇宙県」の歴史的、文化的ルーツを探るために、長野県内の天文史の調査を進めています。長野県内天文資料の掘り起こしや太陽観測データの整理とアーカイブ、諏訪天文同好会の活動を「市民科学」として捉えるための調査研究を行っています。その成果を毎年のシンポジウムおよび巡回展で公開しています。



諏訪天文同好会設立(1922年)当時

写真提供:茅野市ハケ岳総合博物館

「宇宙を見る眼」 撮影:大西浩次

東京大学木曽観測所シュミット望遠鏡に搭載されているトモエゴゼン・カメラ。日々、全天の星たちを監視し続けている。

長野県星空継続観察ワーキンググループ

地域振興、観測環境維持に寄与することを目的に、年に2回の環境省星空観察にあわせて長野県内の星空測定と呼びかけと取りまとめを行っています。この活動で「長野県内の全77市町村で天の川を見られる地点が存在すること」を定量的に示すことができました。



「長野県は宇宙県」
イメージキャラクター
ほしくま

© Tamayo Kawamura